

ハウレンソウ部会支部別反省会

小国郷では雨よけハウスを用いて、周年でハウレンソウ栽培を行うことから、ハウレンソウケナガコナダニ（以下、「コナダニ」）による被害が発生しやすく、その防除が課題となっています。

本年は、農薬による防除効果を高めるために地域別のコナダニ発生調査や、野草堆肥を用いたコナダニ防除効果の調査を行いました。2月に開催された支部別反省会においては、本年度実施した調査結果とコナダニ防除のための栽培管理のポイントを説明しました。

また、近年では冷涼な小国郷地域においても、夏期の高温によりハウレンソウが作りにくい環境になっています。そこで、反省会では今後の高温対策を講じるために、夏期の栽培管理に関するアンケート調査も実施しました。

阿蘇支部では、今後も巡回指導や講習会を実施し、ハウレンソウ生産者の所得向上に向けた取り組みを行っていきます。



反省会の様子



調査ほ場の様子